



タウンサポーター

【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.jp



下都賀地区PTA指導者研修II

10月13日(火)、栃木市岩舟文化会館を会場に標題の研修を開催しました。テーマを「つなぐ・つながるPTA」と設定し、前半は壬生町立藤井小学校PTA(前PTA会長:山川 真一氏、現PTA会長:青柳 俊行氏)による事例発表、後半は立場や校種の異なる3名の方(壬生町地域学校協働活動推進員:荒川 清氏、石橋中学校PTA会長:渡邊 善正氏、栃木翔南高等学校PTA会長:池口 徹氏)に御登壇いただき、インタビューフォーラムを実施しました。

参加者からは、「地域の子どもは地域で育てる。大人が地域や子どもたちに興味をもって関わっていくことは、自分の考えも広まり、子どもたちの多様性も広がるという体験談を参考にしていきたいと思いました。」「取り組み方次第で高等学校PTAも、保護者同士が知り合せて、子どもたちのためにもなる活動ができるということが分かりました。」などの感想が寄せられました。参加者それぞれが、地域で子どもを育てることの重要性やPTA活動の意義を再確認し、今後の実践意欲を喚起する機会となりました。



下都賀地区家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修(兼 下都賀地区家庭教育支援者及び家庭教育行政担当者研修会)

9月4日(金)下都賀庁舎にて、「今だからこそ、見つめなおしたい...」をメインテーマに、標題の研修を開催しました。当日は、家庭教育支援関係者32名が参加し、講話及び演習を通して、家庭教育のあり方について改めて問い直すとともに、家庭教育支援に携わる者としてこれからも大切にしていきたいことについて考えました。

参加者からは、「今後自分が家庭教育支援を行っていくにあたって何を目指していくか、大切にしていきたいかを考えることができ、大変有意義でした。」「ファシリテーションについて、家庭教育について、今までの自分を振り返るよい機会になりました。」などの感想をいただきました。保護者に共感・共感する支援者の姿勢が、豊かな家庭教育支援を生み出していくということを確認できた機会となりました。



地域をつなぐ ふれあい学習

小山

地域未来塾「学びの教室」

今年度も中学1~3年生及び義務教育学校7~9年生を対象に、学習支援活動「学びの教室」を市内7か所で開催しております。

学ぶ意欲のあるすべての中学生を対象に基礎学力や学習習慣の定着を図るため、教職経験者である社会教育指導員や教員免許状をもつ学習支援ボランティアを中心に「学び」をサポートしています。



9月までに合計248名の参加があり、参加者は自習を行い、わからない所をボランティアに聞くなどそれぞれ勉強に励んでいます。時には社会教育指導員がプリントを作成して解説をしてくれることもあります。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、7月からのスタートとなりました。コロナ禍の中でも、生徒たちの学びの機会を奪ってはいけないとボランティアたちが感染症対策を行い、実施しています。

栃木

サイエンススクール in 栃農・栃工

市内小学校の4年生から6年生を対象に開催しているサイエンススクールが、9月から開催されました。例年は7月下旬から実施していましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響により、感染防止の観点から実施を延期していました。その後、県内の感染状況をふまえながら、高等学校側とも協議し、感染予防対策を検討することで実施に至りました。



9月12日に開催した「サイエンススクール in 栃農」では、ジュースからのDNA抽出実験とDNAの説明を行い、10月3日に開催した「サイエンススクール in 栃工」では、プログラミングロボットカー・スカイバリーカーゴの製作とロボット・プログラミング体験を行いました。どちらのサイエンススクールも募集人数を超過して申し込みがあり、科学への関心の高さを再確認いたしました。今後も楽しく学べるような内容を充実させていきたいと思っております。



♡ 人権教育の推進に向けて ♡

今年度も人権週間に合わせて、各市町では、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら人権講演会や人権講座が予定されています。また、多くの学校では、人権に関する作文、標語、ポスター等の作品を通して、人権について考える機会を提供したり、職員研修を予定してくださったりしています。

私たちの誰もがもっている「人権」について考えることは、一人一人を大切にする視点をもつことにつながります。今年度は、特に新型コロナウイルス感染症に関する人権問題について考えることがあったことでしよう。人権が尊重される社会を築いていくためには、一人一人の人権感覚を磨き、人権意識の高揚を図っていくことが大切です。

県では、各種啓発資料を作成し、人権問題の解消や差別の防止に向けた普及啓発の推進に努めています。また、下都賀地区視聴覚ライブラリー(栃木図書館)には、人権に関する映像資料があります。ぜひ、研修等で御活用ください。

*今年度新しく購入した人権に関する映像資料

シェアしてみたらわかったこと	【46分】
サラマットあなたの言葉で	【36分】
お互いを活かしあうための人権シリーズ① 多様性入門	【27分】
お互いを活かしあうための人権シリーズ② ハラセメント・しない、させないための 双方向コミュニケーション	【26分】
LGBTsの子どもの命を守る学校の取組② 当事者によりそうために	【20分】

下都賀地区視聴覚ライブラリー
電話 0282-22-3542 (栃木図書館内)

*人権に関する社会教育指導資料



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。